



# Be the ONE News

“かけがえのない存在”たれ!

Be the ONE 羽衣国際大学  
HAGOROMO University of International Studies

現代社会学部 現代社会学科  
放送・メディア映像学科  
人間生活学部 人間生活学科  
食物栄養学科

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1  
TEL 072-265-7000 FAX 072-265-7005  
http://www.hagoromo.ac.jp/

はごろもこくさい 検索



見せた! 全カプレー



## 近畿学生野球秋季リーグⅢ部4位

# 今は我慢だ

硬式野球部

悔しい敗戦

Ⅲ部優勝を目標に掲げて臨んだリーグ戦。3勝4敗1分と負け越し、Ⅲ部リーグ4位の成績で今季を終えた。8試合で30失点(1試合平均3.8失点)。ディフェンス面の主な内容は失策が14個(1試合平均1.8個)、四死球が16個(1試合平均2.0個)。四死球と失策が失点につながったことが苦戦につながった。来季に向けて、更なるディフェンス面の強化と失点をカバーできる攻撃力の強化をはからねばならない。Ⅲ部優勝を目指してより一層の努力が必要だ。

### 大会成績

◆近畿学生野球連盟

2017年秋季リーグ戦

Ⅲ部リーグ4位(8戦3勝4敗1分)

【一次リーグ】

羽衣国際大 ○15・0 大阪薬科大

△3・3 奈良教育大

○5・4 奈良大

●2・6 兵庫県立大

●0・3 太成学院大

○7・0 大阪歯科大

【二次リーグ】

準決勝 ●2・7 兵庫県立大

3位決定戦 ●3・7 奈良教育大

◆近畿学生野球連盟新人戦

羽衣国際大 ●1・2 兵庫県立大

### 硬式野球部の指導方針

- 野球を通じて人間形成を図ります。  
「学生の本分は勉強、学生野球の本分は練習です。公式戦も大切ですが、それよりも大切なのは日々の練習だと思っています」
- 目指すは、礼儀正しい大学野球部
- 文武両道を目指す大学野球部
- 高校より感動できる大学野球部

茨城・鹿島学園高校監督(3年間)を務めたのち、鳥取・米子商業高校監督(12年間)として、夏の甲子園大会出場。2016年春まで本学監督を兼任(6年間)。現代社会学科にて、「スポーツ心理学」「健康スポーツ論」「スポーツ指導方法論」を教える。スポーツメンタルトレーニング指導士。



部長 朝西 知徳 (現代社会学部教授)

神奈川・鎌倉学園高校では、内野手として春の甲子園出場。日本通運(社会人日本一)を経て、西鉄ライオンズ、阪神タイガースなどで主軸打者として活躍。引退後は阪神タイガース、ダイエーホークス、横浜ベイスターズなどでコーチ・二軍監督を務める。



総監督 竹之内 雅史

日本体育大学では、捕手として明治神宮野球大会、大学野球選手権大会に出場(ともにベスト4)。和歌山・初芝橋本高校のコーチとして、夏の甲子園大会出場。監督も務める。2016年秋に大学野球部の監督に就任。入試センターにて学生募集にあたる。



監督 伊丹 康治 (本学職員)



主将 小谷 篤裕 (人間生活学科3年)

今季のリーグ戦は、故障者も多く、実力を発揮するため準備が不十分だった。昨季は、先輩方に助けってもらえる甘さがあったが、チームを引っ張る立場になった今季は、負けても戦い続けることの難しさ、苦しいときのチーム運営の難しさを感じた。この貴重な経験を活かし、来季は二部昇格が果たせるように努力をしたい。



副将 森川 侑哉 (現代社会学科3年)

今季のリーグ戦も苦しい戦いだったが、改めてベンチをはじめ、見えないところでチームを支えてくれた選手への存在に気づくことができ、勝ち負け以上に価値があるものを見つめることができた。この経験を胸に、冬の厳しい練習を耐え抜き、チーム一丸となって三部優勝、二部昇格を果たしたい。



副将 小西 力斗 (現代社会学科3年)

今季は個人としても、まったく結果を出すことができなかった。チームも目標にはほど遠い結果に終わり、悔しい思いをした。この悔しさをバネに課題に向き合い、来季は三部優勝、二部昇格の目標を果たすべく、最後のリーグ戦をいかに勝ちぬけるようにしたい。



1年生責任者 小田口 拓矢 (現代社会学科1年)

目標を達成することができなかったが、リーグ戦の負けを経験したことで、個人としてもチームとしても課題がたくさん見えてきた。故障者が多く、全敗も覚悟した中、全員の努力で決勝リーグまでたどり着くことができ、自信につながった。来季は目標を達成したい。

目標を果たせず、来季も三部スタートとなったが、来季に向けて、もう一度、野球部全体の取り組みの内容を見直し、質の高い練習の積み上げをしながら目標に向けて邁進したい。後輩たちにも最高のかたちでバトンが渡せるように頑張りたい。



主務 桂田 大成 (現代社会学科3年)

投打ががみ合わずに苦しい戦いが続いた。副責任者としての力不足を感じたが、我慢強く取り組むことで、成長を感じさせてもらえることも多くなった。敗戦を糧に、チームの長所を更に伸ばす努力を続け、来季は必ず三部優勝、二部昇格を果たし、後輩たちへつなごう。



副将 坂本 凌 (現代社会学科3年)

今季は練習の成果を発揮することができず、練習どおりのプレーを試合で実践することの難しさを感じた。故障をした選手が多かったが、みんなでカバーをしあって乗り切った経験をこの先の勝利に結びつけたい。来季に向けての戦いは始まっている。明確な目標を設定して取り組み、三部優勝、二部昇格を果たす。



2年生責任者 山東 巧 (現代社会学科2年)

# Dream is infinite!

～夢は無限大～

チームスポーツにおける協調性と選手の特徴をいかしながら、強く、たくましく、そして愛されるチームづくりを目指します。



新井笑瑠(左)  
現代社会/スポーツ1年

永井志穂(右)  
現代社会/スポーツ2年

最優秀投手賞に選ばれたことを大変嬉しく思います。今の結果に満足することなくさらに上を目指し、チーム目標や個人目標が達成できるように日々の練習に励みたいと思います。

2つの賞を受賞することができて、とても嬉しいです。次の春季リーグは2部リーグからのスタートです。チームで良い成績を残し、個人でも賞を取れるよう頑張りたいです。



## 個人賞に永井 & 新井

ベストプレイヤー賞

盗塁賞

最優秀投手賞



ソフトボール部

## 秋季リーグ3部3位

### 平成30年春季リーグ 一次予選は2部参戦

監督 小林朝子

今シーズンも昨年に引き続きスポーツ推薦組以外の一般学生の協力を得て、チームを結成しました。ケガでの離脱が多く、ポジションのコンバートで外野の学生を未経験のキャッチャーにする等、試行錯誤したシーズンでしたが、なんとか公式戦を棄権することなく終えることができました。

関西リーグに加盟して2年、今シーズン終了まで助っ人としてプレーしていただいた学生には感謝の思いでいっぱいです。推薦組のメンバーは感謝の気持ちを心に留め、個人力、チーム力が向上していくよう日々精進してほしいと思います。

来年度は初めて推薦組のみでのチーム結成となります。この冬を乗り越えた学生たちがどれだけ飛躍してくれるか期待しています。

部長 数井敏男

秋季リーグは3部3位という成績でした。一生懸命練習し、個々の能力をアップさせることはもちろん、私は「勝つソフトボール」とはどういうものかを知ることが大切でないかと思っています。多くの試合を経験すると同時に、「見る」ことで何かを発見する。いろいろな状況やタイミングを感じ、計ることで見えてくるがあります。次年度は9人の新入部員の入部が決まっています。どんな試合になるか楽しみです。

### 大会成績

◆平成29年度第49回秋季

関西学生ソフトボールリーグ

一次予選リーグII部  
羽衣国際大 ● 0・7 天理大  
● 1・10 太成学院大  
● 2・3 びわろ大  
(9回タイブレーク)

2部別リーグIII部

羽衣国際大 ● 2・5 びわろ大  
○ 6・3 京都女大  
● 3・4 京都産業大  
○ 5・2 大阪経法大  
京都学園大

最終結果

3部3位(2勝5敗)

※平成30年度春季

一次予選は2部リーグ

3部個人表彰

ベストプレイヤー賞

永井志穂

盗塁賞

永井志穂 4本

※春秋連続受賞

最優秀投手賞

新井笑瑠 防御率1・05

打率10位以内

永井志穂 5位6・00

的場 10位5・00



### 冬季和歌山合宿

2017年12月23～27日に和歌山合宿を行いました。来年度入学予定の新入生も合流し、先輩たちと積極的にコミュニケーションを取るなど距離を縮めました。

期間中2日間は昨年引き続き大阪の四條畷学園高校と合同練習を行いました。教える事や伝える事の難しさを学生たちは学んでくれたと思います。天候に恵まれ、朝から夕方までみっちりソフトボールをすることができ、充実した合宿となりました。

### 第8回堺市ソフトボール講習会で技術指導



2017年12月10日、大阪府堺市で小学生対象の講習会(堺市ソフトボール協会主催)が行われ、日本リーグ男子東日本1部の大阪グローバル、関西大学女子ソフトボール部、羽衣国際大学女子ソフトボール部、香ヶ丘リベルテ高校女子ソフトボール部が講師となり、約250人の参加者に技術指導を行いました。スペシャル講師として、日本リーグ女子1部のシオノギ製菓女子ソフトボール部の重藤恵理佳投手と敷原顕子外野手が参加。現役日本リーグ選手のプレーを間近で見たり、経験談を聞いたりと、学生たちにも有意義な一日となりました。

### 女子ソフトボール部 × 食物栄養学科

#### 食べて強くなる！食育プロジェクト



2016年7月4日より、女子ソフトボール部の選手の身体計測や栄養に関するアドバイスを食物栄養学科の4年生(今年度は義田陽菜子さん)が実施して、2年目を迎えています。選手たちは「体脂肪率が高値ですよ」と義田さんがアドバイスすれば、次回の測定日までに体脂肪量を落とすための食事(欠食をせず、練習をしつかり行う、鶏肉を中心とした食事をすする、間食は控えめにするなど)に挑戦して実績を作っています。また、食事内容をスマートフォンなどで送信して、食事の面からのアドバイスを得て活かしてくれています。この関係を継続していきたいと思っています。

### Memories of 2017-18



春 六甲山(女子駅伝部合同)

春 大縄大会

春 卒業式

夏 調理実習

秋 大学祭

秋 元日本代表監督の宇津木妙子さん来校

夏 日本リーグ観戦①

冬 みどりのサンタ(ボランティア)

秋 秋季リーグ

夏 パーベキュー

夏 日本リーグ観戦②

# 順位決定T 決勝に勝利

# 優勝

## バドミントン 関西学生秋季リーグ

### 女子5部



切磋琢磨と明るい雰囲気がチームを成長させている。

バドミントンクラブの女子は、2017年度関西学生秋季リーグ戦の5部Bグループに参戦しました。出場メンバーは、上江洲虹歌（食物栄養学科2年）、山内瑛末（同1年）、知念さつき（同1年）、中村茉莉子（同1年）の4選手。

### 5部B全勝

## 最終ゲームに底力発揮



関西学生リーグ5部決勝戦

第3シングルスの上江洲は、第1ゲームを失う苦しい展開でしたが、粘り強くラリーをし、チャンスには積極的にスマッシュを放ちました。最終第3ゲームも6・11の劣勢から逆転勝ちを収め、

その準決勝は3・0で快勝。決勝では第2シングルスの上江洲と第1ダブルスの知念・中村組が勝利しました。

### 4部に昇格

羽衣国際大は記念すべきリーグ戦参加初戦を勝利で飾りました。第2戦以降も粘り強いラリー、積極的なショットで白星を重ね、Bグループ内リーグ5部全勝でグループ1位を獲得。5部順位決定トーナメント準決勝に進出しました。

## 知念が新人戦(単)で活躍

2017年11月に行われた関西学生新人戦でも女子が奮闘。シングルスでは知念が2回戦から3連勝で準々決勝に進出しました。ベスト8の壁は破れず、中村と組んだダブルスでも勝ち進むことができませんでした。収穫と課題が入り混じる試合になりました。



新人戦で好成績を残した知念(中央)。さきなる飛躍が期待される。

### 関西学生8強&大阪学生3位

健闘及ばず、決勝進出を逃しましたが、3位決定戦では対戦相手を圧倒。21・17、21・18でストレート勝ちを収め、3位の座を獲得しました。知念「3位決定戦は、自分のミスを減らすことと、相手を動かすことを意識して戦い、自分の力が出しきれた試合でした。今年最後の大学の試合で結果を残せて良かったです。来年はもっと上にいけるように、練習を頑張っていきたいと思います」



羽衣国際大学スポーツホールでの試合

## 粘りのラリーと積極ショット

これで5部1位が決まり、4部との入れ替え戦に進出。入れ替え戦は対戦相手は棄権したため、羽衣国際大は来季リーグ戦を4部からスタートします。



7連勝で4部昇格(左から)中村、山内、上江洲、知念

### 大会成績

◆関西学生秋季リーグ戦
▽女子5部Bブロック
▽第1戦 ○3・2 和歌山大
▽第2戦 ○4・1 大阪樟蔭女大
▽第3戦 ○4・1 大阪芸術大
▽第4戦 ○4・1 桃山学院大
▽第5戦 ○3・2 大谷大
▽女子5部順位決定トーナメント
▽準決勝 ○3・0 森ノ宮医療大
S1山内 2・0 田村
S2上江洲 2・1 松本
D1知念 2・1 松本
中村 2・1 田村
▽決勝 ○3・2 関西外国語大学
S1山内 0・2 久保
S2上江洲 2・0 松本
D1知念 2・0 松本
中村 2・0 飯田
D2山内 0・2 久保
上江洲 0・2 三野
S3知念 2・0 三野
▽女子4部5部入れ替え戦
羽衣国際大○(棄権)同志社女大
◆平成29年度関西学生新人戦
▽男子シングルスB
2回戦 北島 0・2 渡部 佛教大
1回戦 岡村 0・2 三坂・河村
北嶋 0・2 (関西外大)
▽女子シングルスB
1回戦 山内 0・2 河野 天教大
中村 0・2 寿(和歌山大)
2回戦 上江洲 0・2 松田 桃山大
山内 0・2 伊吹 天教大
3回戦 知念 0・2 竹代 天教大
上江洲 0・2 北澤 京華大
4回戦 知念 0・2 和田 滋賀経
知念 0・2 金子 天市大
準々決勝 知念 0・2 東新 四天大
1回戦 上江洲 0・2 小野・濱高
山内 0・2 (大阪国際大)
知念 0・2 深堀・西本
中村 0・2 (大阪成蹊大)
上江洲 0・2 徳岡・畠中
2回戦 山内 0・2 (京産大)

**チーム紹介**

クラブスローガン

## Act by yourself and open your future!

自ら動き、未来を切り拓け！  
～自身の可能性とクラブの魅力を高めていこう～

<活動概要>

2016年に創部し、ようやく活動3年目の強化指定クラブです。まだまだ、大会で勝ち上がっていくには厳しいですが、全国レベルの大会にチャレンジできるように日々練習に励んでいます。また、地域と場の特徴を生かし、中学・高校、地域と連携して活動の広がりを目指しています。

<練習DATA>

火水土日曜：大学スポーツホール  
月・金曜：外部体育館  
木曜：調整中

## パラバドミントンも応援しています

### TOPICS

## パラバド日本代表(代表監督)

### 世界選手権金メダル2個



SL3-SU5女子ダブルスの杉野(右から2人目)と喜多監督(右端)

バドミントンの喜多努准教授(現代社会学部)は日本代表監督として、クラブ生に食事栄養指導をしている片山真子専任講師(人間生活学部食物栄養学科)はJPC(日本パラリンピック委員会)医・科学情報サポートスタッフ栄養グループ担当



SU5女子シングルスで金メダルの鈴木

また、定期的に羽衣国際大学の練習に参加しているSU5の正垣源(Tポイントジャパン)が2017年12月のパラバドミントン日本選手権の男子ダブルスで2連覇を果たしました。バドミントンクラブは今後も学生選手個々のレベルアップを図りながら、パラバドミントン日本勢の活躍を応援していきます。



2018年2月にも合宿形式で一緒に練習しました

# HAGOROMOのたすきつないだ

## 関西学生女子駅伝 初出場11位



# 力走

女子駅伝部

1時間48分台と10位を目標に掲げて、関西学生女子駅伝(2017年9月23日)に初出場。1時間48分36秒で11位となり、目標タイムは達成した。

1区の宇田川は区間9位と好走し、2区の東は無難な走り。3区で区間8位の岡と、4区で想定より30秒速かった畑中も期待に応えてくれた。5区の南野は粘りの走りを見せ、6区の足日が落ち着いた走りでゴールしてくれた。1年後、さらに成長した姿でたすきをつなぎたい。



### 1区 宇田川里奈

(現代社会学科スポーツコース1年)

**感想** みんなのために頑張ろうと思いき、ここで弱気になつたら負けだという場面で粘って走れました。区間9位には、うれしさもありますが、まだまだ自分は弱いと思いましたが、伸びるチャンスもあると感じました。

**2018年目標** 昨年は3000mで自己新の9分59秒53を出す事ができました。今年は9分50秒以内が目標。練習も食生活も意識を上げていきます。



### 2区 東美月

(現代社会学科スポーツコース3年)

**感想** 武庫女、大体大に先着するなんて誰も予想していなかった。羽衣国際大学の存在をアピールできたという思いがあります。個人的には抜かされたときに粘ることができず、反省だらけのレースでした。応援タイムが1秒、2秒変わると実感できました。

**2018年目標** 2017年の3000m10分20秒という目標を達成できていないのでリベンジしたいと思っています。



### 3区 岡奈津美

(食物栄養学科1年)

**感想** 初出場なので、挑戦の気持ちで走りました。各大学のエースがそろった3区で目標の23分00秒を切って走れましたが、実力の低さを感じました。これから応援してもらえようように、みんなで全国大会出場に近づいていきたいです。

**2018年目標** 故障せず、走らない日を作らないようにすることを目標に継続して努力していきたいです。そして全国で走る目標を絶対に達成したいです。



### 4区 畑中涼芳

(現代社会学科スポーツコース1年)

**感想** 陸上をしていて初めて6.5kmという距離を走り、目標の24分30秒を切れませんでした。しかし、終盤ペースダウンしてしまったので課題が見つかった駅伝でもありました。

**2018年目標** 昨年は故障もあって自己ベストを出せませんでした。今シーズンは故障をせず、みんなと一緒に練習をこなして、全種目で自己ベストを出すことが目標です。

**5区 南野結芽**  
(食物栄養学科2年)

**感想** 前半4人の頑張りのおかげで、11位でたすきをもちょうことができました。しかし、前との距離を詰められず悔しかった。2018年は昨年よりも上の順位を目指します。

**2018年目標** 1500m4分40秒、3000m9分50秒、5000m16分50秒を切り、大きな舞台に立ちたいです。

2018年1月14日に京都市内で行われた皇后盃第36回都道府県対抗全国女子駅伝(9区間42.195km)に岡奈津美(2年)が和歌山県代表として出場。7区(4km)を走り、区間31位で、チームは37位だった。

# 岡が全国女子駅伝に出場

## 和歌山代表7区

**夢の都大路を力走 結果を出せる選手に**

初めての全国大会で、夢だった都大路を走ることができてとてもうれしいです。今の自分にできる走りをしよう、そして大会を楽しもうという思いで走りまわりました。

全国のレベルの高さに気づかれましたが、出場するだけではない、結果を出せる選手になりたいと感じました。大学の全国大会に出場することを目標に練習を積み上げていきます。



### 主要大会成績

- ◆関西学生女子駅伝
  - 11位・1時間48分36秒
  - 1区39km宇田川13分20秒①-2区3.3km東11分46秒②-3区6.5km岡22分47秒③-4区6.5km畑中24分08秒④-5区3.3km南野11分36秒⑤-6区6.5km足日24分59秒⑥丸中数字は区間順位
- ◆関西学生種目別選手権(決勝)
  - ▽1500m⑤畑中4分47秒16▽
  - 5000m④宇田川18分23秒28▽
  - 3000mSC⑥福田12分24秒99

# 羽衣国際大勢1・6位独占

2月18日に行われた泉州国際マラソンの10km女子の部で岡奈津美が35分06秒で栄冠に輝いた。後続に2分

差をつける独走Vだった。岡に大差をつけられたものの、羽衣国際大勢は2位宇田川里奈、3位畑中涼芳、4位南野結芽、5位足日瑞姫、6位東美月と上位を独占。地元をロードレースで存在感を示した。

岡 初めての初出場でしたが、優勝できてよかった。地元の方の応援も嬉しかったです。来年はフルマラソンに挑戦し、優勝をしたいです。



**福田明里**  
(人間生活学科生活福祉コース3年)

**感想** 昨年は関西インカレや西日本インカレなど目標にしていた選手権に出場できませんでした。駅伝では走ることができずとても悔しかった。今回の悔しさや晴らすためにもメンバーに入り、チームに貢献する走りができるよう練習を積んでいきたいです。

**2018年目標** 1500m4分44秒、3000m障害10分59秒の目標タイムを達成し、5000mにも挑戦します。



片山真子専任講師(食物栄養学科)ゼミでは、女子駅伝部に対して減量と貧血予防のための栄養サポートをしています。今年度は、スポーツ栄養士を目指す食物栄養学科4年の北川実紅さん、北口瑞生さんが中心となってサポートしました。

8月に調理実習を実施。メニューは「玄米ご飯、豚肉とカラフル野菜の温玉のせ、きのこのマリネ、かぼちの豆乳ポタージュスープ、ヨーグルト(キウイ・ナッツ・はちみつ入り)」です。体脂肪を落とすとして、貧血も予防でき、疲労回復に必要な栄養素も確保できる食材を組み合わせてみました。9月の駅伝前には、体脂肪が減り、貧血を回避した選手もいました。今後も女子駅伝部の栄養サポートを続けていく予定です。

# 減量と貧血対策 栄養指導 調理実習を開催

片山ゼミ

# 祝 自己記録更新

福田 明里	1500m	4分51秒96
	3000mSC	11分42秒65
東 美月	1500m	4分59秒25
	3000m	10分40秒88
南野 結芽	1500m	4分56秒34
	5000m	17分47秒54
岡 奈津美	1500m	4分40秒16
	5000m	16分42秒34
宇田川里奈	3000m	9分59秒53
	5000m	17分25秒05